

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設（消防に関する施設：消防ポンプ自動車）整備事業						
補助事業者名	西海市長						
実施場所	西海市崎戸町						
補助事業の成果の目標	本市、各地区の消防団（57組織）では、迅速な消火活動により市民の生命、財産を守るべく日々消防訓練に励んでいる。この初期消火には消防ポンプ自動車は必要不可欠であり、非常時に支障が無いよう日々の維持管理が必要である。そのため経年劣化の激しい20年以上経過する車両については、随時、更新していくことで消防設備の維持を図る。 本市の消防車は現在78台あり、充足率は100%である。今回20年以上経過した車両のうち1台の更新を行う予定で、今後も現在の台数の維持を図ることを目標とする。						
補助事業の内容	消防ポンプ自動車（CD-I型）1台						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 17,226,000	円	円	円	円	円 17,226,000
	交付金額	17,226,000					17,226,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	消防ポンプ自動車の更新により、配備した消防団から更新車両の使用後の評価について報告を求めたところ、機械器具点検等で操作性が向上し、安定した消火活動が出来るようになったとのことであり、消防設備・活動の維持が図れた。 市のホームページ及び広報紙に消防ポンプ自動車購入の記事掲載及び、車両外面への、「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」の記載により周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設 (消防に関する施設：黒口地区消防詰所新築工事) 整備事業						
補助事業者名	西海市長						
実施場所	西海市西海町黒口郷						
補助事業の成果の目標	本市内の消防分団(57組織)では、迅速な消防・防災活動により市民の生命・財産を守るべく、日々、訓練に励んでいる。これらの活動の拠点となる消防詰所であるが、当地区では次のような課題を抱えている。 ①建設後37年が経過し、シャッターが開きにくくなっている。 ②屋根がたわみ、雨漏りするなど老朽化が著しい。 以上のことから、消防団の活動に支障を来している状況であるため、現在地に新築整備し消防団活動の拠点としての機能の維持・改善を図るものである。						
補助事業の内容	消防詰所 A=74.44㎡						
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成28年度						
事業費及び交付金額		27年度	28年度				計
	事業費	円 972,000	円 19,270,440	円	円	円	円 20,242,440
	交付金額	972,000	18,841,000				19,813,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	当該消防団より、消防詰所の建替えにより、機械器具点検や消防活動出動がスムーズに行えるようになったとの報告があり、消防活動拠点としての機能の維持・改善を図れたことを確認した。 本詰所の建築が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を市のホームページ及び広報紙に記事を掲載し住民へ周知した。また、本詰所のシャッター面へ記載し地域住民へ周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設（消防に関する施設：太田和岳地区防火水槽建設工事）整備事業						
補助事業者名	西海市長						
実施場所	西海市西海町太田和郷						
補助事業の成果の目標	本市、各地区の消防団(57組織)では、迅速な消火活動により市民の生命、財産を守るべく日々消防訓練に励んでいる。 初期消火には消防水利は必要不可欠であるが、当該区域は小規模な防火水槽しかないため、消防法で定められた40tの防火水槽を設置し、迅速な消火活動を支援し、早期の消火や延焼を防ぐことができるよう、消防水利の充足を図る。						
補助事業の内容	防火水槽 40m ³ 1基						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 7,282,440	円	円	円	円	円 7,282,440
	交付金額	4,500,000					4,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	消防訓練を行い、防火水槽を設置したことにより、迅速な消火活動ができることを確認した。また、地域住民が安心して生活できているか聞き取り調査を行い、安心して生活が出来ていることを確認した。 本防火水槽の建設が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を市のホームページ及び広報紙に記事を掲載し住民へ周知した。また、防火水槽表示看板に記載し地域住民へ周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設（消防に関する施設：中浦木場地区防火水槽建設工事）整備事業						
補助事業者名	西海市長						
実施場所	西海市西海町中浦北郷						
補助事業の成果の目標	本市、各地区の消防団（57組織）では、迅速な消火活動により市民の生命、財産を守るべく日々消防訓練に励んでいる。 初期消火には消防水利は必要不可欠であるが、当該区域は小規模な防火水槽しかないため、消防法で定められた40tの防火水槽を設置し、迅速な消火活動を支援し、早期の消火や延焼を防ぐことができるよう、消防水利の充足を図る。						
補助事業の内容	防火水槽 40m ³ 1基						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 6,311,520	円	円	円	円	円 6,311,520
	交付金額	4,500,000					4,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	消防訓練を行い、防火水槽を設置したことにより、迅速な消火活動ができることを確認した。また、地域住民が安心して生活できているか聞き取り調査を行い、安心して生活が出来ていることを確認した。 本防火水槽の建設が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を市のホームページ及び広報紙に記事を掲載し住民へ周知した。また、防火水槽表示看板に記載し地域住民へ周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：西海地区スクールバス運行事業基金）							
補助事業者名	西海市長							
実施場所	西海市西海町							
補助事業の成果の目標	西海地区の児童生徒には交通手段の乏しい地域から通学する者がおり、市では通学手段等の確保を目的とした西海地区スクールバスを運行している。 そのため、西海地区スクールバス運行事業基金を設置し、西海地区スクールバス運行事業の安定的な継続を目的とする。							
補助事業の内容	西海地区スクールバス運行事業（運転委託費）の財源とする。							
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成37年度							
事業費及び交付金額		27年度	28年度				計	
	基金造成額	交付金額	円 24,922,000	円 8,331,000				円 33,253,000
		市町村費等	0	0				0
		運用益	0	18,691				18,691
		計	24,922,000	8,349,691				33,271,691
	基金処分額	0	10,000,000				10,000,000	
	基金残額	24,922,000	23,271,691				23,271,691	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	スクールバスの運転日誌による平成28年度の実績としては、運行日数285日、延べ利用児童生徒数39,931人（1日当たり延べ140人）となっており、遠距離の児童の通学手段が確保されていることを確認した。 また、市の広報誌及びHPに、整備特定防衛施設周辺整備調整交付金を西海地区スクールバス運行事業の財源としたことの記事を掲載し住民へ周知した。							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連特定事業（教育スポーツ及び文化に関する事業：西海市防衛施設周辺公園管理基金）							
補助事業者名	西海市長							
実施場所	長崎県西海市							
補助事業の成果の目標	西海市の公園については、地域住民のみならず多くの市民が訪れ、レクリエーション活動等に利用されており、公園緑地の整備と維持管理を日頃から行っている。 そのため、西海市防衛施設周辺公園管理基金を設置し、公園施設等の維持管理運営に充てることで、市内の公園を市民の憩いの場及び地域の交流の場として快適な環境に整えることを目標とする。							
補助事業の内容	防衛施設周辺公園管理							
補助事業の始期及び終期	平成26年度～平成37年度							
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度			計	
	基金造成額	交付金額	円 16,275,000	円 13,725,000	円 0	円	円	円 30,000,000
		市町村費等	0	0	0			0
		運用益	0	11,236	13,715			24,951
		計	16,275,000	13,736,236	13,715			30,024,951
	基金処分額	0	2,518,000	2,847,000			5,365,000	
基金残額	16,275,000	27,493,236	24,659,951					
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	利用者へのアンケートの結果、9割以上が概ね快適に利用できたとの回答であり、憩いの場及び地域の交流の場として快適な環境づくりに寄与することができた。 また、維持管理業務については委託しており、不具合等の発生状況を確認し適切に管理運営を行っている。 地域住民への周知については、公園の環境整備に特定防衛施設周辺整備調整交付金が使われていることを、ホームページへの掲載や、看板記載により実施した。							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。